



中学生に「生」の英語を伝える AET（英語指導助手）として、市内11の中学校を巡回しているローラさんとウィリアムさん。

「大好きな子供たちと触れ合いながら、日本の文化や学校について学ぶこともできる。両方楽しめて最高」と、これまでの7カ月を振り返る。

言葉はコミュニケーションの大切な道具。だからこそ身構えずに英語を楽しんで学んでほしいと願う2人の授業は、雰囲気作りから始まる。ゲームやオーバーアクションなどのユニークな仕草で笑いを誘う。言葉の壁に緊張する生徒たちの心の壁を取り払うためだ。

彼ら自身も生徒たちに教わることは数多い。ウィリアムさんは互いに学び合うため、私は日本語で答えるから、その代わりにみんなは英語で話しかけて」と生徒と約束するという。休み時間でも教科書を調べて、一生懸命話しかけよう

室蘭は私たちのセカンドホーム

キラリ
室蘭人

室蘭市教育委員会 **ウィリアム・チルドレス**さん (写真左)
英語指導助手(AET) **ローラ・トータレリ**さん (写真右)

ウィリアムさんはアメリカ・テネシー州メンフィス出身、25歳。ローラさんは室蘭市の国際姉妹都市であるテネシー州・ノックスビル市出身、23歳。2人とも大学を卒業後、英語指導助手として昨年8月に着任。市内の中学校で英語の指導にあたっている。

生徒全員が生徒の英語に触れられるよう、一人ひとりの机をまわり会話を交わす。



としてくれます。私も答えることが日本語の勉強です」と意欲的。「日本の学校は先生と生徒の仲が良いのが印象的。アメリカとはシステムも違うけど、日本の学校の良さをたくさん学びたい」とローラさん。そんな2人の周りには、放課後にも多くの生徒が集まる。

日本の文化も日々吸収している。「剣道や茶道、だるまさんがころんだ」もおもしろい。でも将棋は難しいですね」とチャレンジを楽しんでいる。

「自然がたくさんあって、穏やかな心地良いまちですね。夏はイタンキ浜、冬はだんパラスキー場も楽しいです」と室蘭での生活にもすっかりなじんだ様子。毎週送る家族への手紙では、坂の多さに驚いたことや、身近にある海の美しさなど話題は尽きない。

「室蘭はセカンドホーム（第2の故郷）。たくさん温かい人に出会えてうれしい」と声をそろえる2人は、すっかり「室蘭人」だ。

市立港北幼稚園を 廃止しないで

港北幼稚園について、廃止の案があると聞きましたが、港北幼稚園は地域にとって、なくてはならない教育の場です。港北・柏木地区は子供も増えていきますし、絶対に廃止してほしくありません。

(3人の子を持つ母)

お答えします

就園対象児の減少により、私立を含めた幼稚園全体として、年々園児の確保が難しい状況になっています。昨年5月現在の入園状況は、市内全体の定員が1千925人に対して1千209人(約63%)となっており、港北幼稚園では、定員140人に対して67人(約48%)です。

一方、市では行政改革を進めるため、市民との協働改革プランを策定し、公共サービスのあり方や公共施設の見直しの議論を始めています。このような中で、港北幼稚園については、廃止のみを前提とした検討ではなく、民営化を視野に入れた運営主体のあり方や、保育所・私立幼稚園を含めた新たな幼稚園のあり方を検討していきます。

今後、地域や利用者の皆さんの意見をよく聴きながら、施設の老朽化、就園対象児の推移、運営経費などを総合的に検討し、決定します。

(教育委員会総務課)

八丁平に 中学校を設置？

室蘭東高校と室蘭商業高校が統合される計画がありますが、商業高校の再利用として、八丁平地区の中学校に利用するという情報を聞きました。本当でしょうか。

(八丁平住民)

お答えします

中学校の整備では、複数の小学校に対して中学校1校を配置するという基本方針に基づき、その規模として12学級以上の確保を基本としています。室蘭市では、人口の流出と少子高齢化に伴う生徒数の減少が続いており、八丁平地区でも、児童生徒数の大幅な増加は見込めないため、12学級以上の確保は困難な状況です。

このことから、高校再編に伴う商業高校の再利用も含めて、現段階では八丁平地区に、新たに中学校を開設する状況にはありません。

(教育委員会総務課)

ととと
声

皆さんの声をお寄せください。
〒051-8511 室蘭市幸町1-2
室蘭市市民対話課
☎252193、ファクス252835
Eメール shiminaiwa@city.muroran.
hokkaido.jp